

令和3年度 生産者手取り最大化実践メニューのご紹介

JAと全農にいがたでは、担い手の皆様の経営改善と手取り最大化をめざし、様々な実践メニューをご提案しています。

実践メニューは、物財費削減・労働費削減・生産性向上の3つに分類されており全34項目があります。

内容をご覧いただき、気になる項目からぜひ実践してみてください!!

なお各項目の詳細は、[JA全農にいがたHP-営農レポート-5月号](#)をご覧ください。

(詳しくは、お近くのJAにお問い合わせください)



令和3年度 生産者手取り最大化実践メニュー一覧

項目	物財費削減	項目	労働費低減	項目	生産性向上
1. 肥料・農薬費の低減		1. 育苗・直播技術		1. 収量品質向上・農薬確保	
1	水稲用JA県下統一肥料の普及拡大	10	水稲高密度播種の導入	21	土づくり肥料の活用
2	一般高化成肥料の銘柄集約 ※国産化成肥料	11	水稲直播栽培(鉄コーティング等)の導入	22	◎オーダーメイドBB肥料の活用
3	肥料・農薬の直送対策 ※生産者宅まで直接配送	2. 施肥の省力化		23	複数年契約栽培(コシヒカリ、こしあぶき)の取り組み
4	◎フレコン規格肥料の取り扱い ※主に200kg、400kg	12	肥効調整型肥料入り銘柄の活用	24	水稲多収性品種の取り組み
5	担い手直送規格農薬の拡充 ※4ha相当規格	13	苗箱まかせめによる水稲育苗苗全量施肥	25	大豆の生産性向上 ※湿害対策、土づくり等
2. 機械費の低減		14	水稲流し込み施肥 ※灌漑水と流し込む施肥法	2. 園芸の新規導入・拡大	
6	農機シェアリース(大型コンバイン)	15	ドローンによる水稲施肥	26	園芸品目の生産拡大
7	「JAグループ共同購入」トラクターの普及拡大	3. 除草の省力化		27	加工・業務用向け野菜の生産
8	園芸振興用農業機械の貸し出し	16	豆つぶ剤・顆粒水和剤による防除	28	養液栽培システムの導入
3. 段ボール資材価格の引き下げ		4. 園芸の省力化		3. 営農排(かん)水の改善	
9	全国標準規格段ボール箱への集約	17	野菜収穫機の導入	29	地下水水位制御システム「FOEAS」の導入
		18	生分解性マルチの活用	30	農業機械の活用による「土づくり」※透水性・作土等
		5. 水管理の省力化		4. ICT等による生産の効率化	
		19	自動給排水装置の導入	31	営農管理システム(Z-GIS)の導入
		6. 米の出荷作業の軽減		32	営農計画策定支援システム(Z-BFM)の活用
		20	米のフレコン出荷の拡大	33	ドローンの活用 ※直播・除草剤
				34	GPSを活用した農業機械の導入



項番 31：営農管理システム (Z-GIS)

効率的な防除、施肥(可変施肥)、水管理(自動給排水) 各圃場の土壌状態、生育ステージ、気象状況に応じた管理 生育予測システムに応じた管理

(担い手・営農支援部 担い手・営農支援課)

※掲載内容の無断使用・転載を禁じます。